

執筆者紹介（掲載順）

執筆者 ①職位（所属）、②専門分野、③主な担当科目、④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

森 雅雄 ①准教授（国際人文学部国際文化学科）②社会人類学③「国際文化研究の方法b」「文化人類学」「比較文化概論」「人間研究I（人間と自然）」「日本と東アジア」「日本の思想」「日本文化概論」「食と文化」「国際日本学b」「日本民俗学」「プロジェクト研究」④「ファン文化と韓流」（『城西国際大学紀要』16巻2号、2008年）、「なぜ彼女は幽霊なのか？—韓国「反日」映画についての註釈—」（『城西国際大学紀要』14巻2号、2006年）、「「甜蜜蜜」の味—チャイニーズ・オールディーズの感覚^{センス}=意味—」（『城西国際大学紀要』13巻2号、2005年）など。

Trevor Ballance

① Assistant Professor, Department of International Exchange
② Non-Governmental Organizations and sustainable development
③ NGO Theory, International Volunteering
④ M.A. in TESOL, Temple University Japan (TUJ), active member of several NGOs in areas of development, human rights and environment; regular guest speaker for TUJ's NGO Certification Program and for the NGO 'People for Social Change'. Currently studying for a Masters' degree in Sustainable Development at an English University (correspondence course).

原 やす江 ①助教（語学教育センター）②日本語学、日本語教育学③日本語④第二言語としての日本語、その教授法、そして学習者の日本語習得過程に関する研究をしています。主な論文：「第二言語の読解における語彙推測ストラテジー」（2003）、「日本語学習者の読解過程と語彙認知—非漢字圏学習者のケーススタディー—」（2006）、「第二言語としての日本語説明文読解におけるテキスト処理指導法—意味的關係の認識と要約文作成—」（2007）「中国語母語話者の日本語習得過程—自由発話文に現れた複文の使用の広がり—」（2008）「『読む』『聞く』技能を伸ばすには—予測力・推測力の活性化—」（2008）など。

瀧 章次 ①研究員（リベラルアーツ&サイエンスセンター）②西洋古典学③基礎教育担当④2008年執筆論文：“A Thorn in the Flesh of Doctrinal Readers of Plato”『フィロロギカ』3:79-87、“A Chasm underneath the Smoothed Consensus”『東京大学西洋古典学研究室紀要』4:83-93、城西大学では、東洋哲学概説、西洋哲学概説、西洋哲学特殊講義I、IIを非常勤講師として担当している。研究業績は、古代ソクラテス文学、新約聖書、古代末期における古典文化の伝承に関する論文が主たるものである。